



この「ふるさと研究ニュース」は、市民のみなさんに、所沢のことをもっと知っていただける機会や情報をおとどけする情報紙です。所沢のことをもっと知りたい方、ぜひご活用ください。

ふるさと研究講座 探究編 クローズアップ所沢 「ふるさと所沢の味」

ふるさと研究講座“探究編”は、通史から一步踏み出し、一つのテーマを題材として掘り下げて学ぶ、全4回の連続講座です。今回のテーマは、**味**。

子どもの頃から、なじんできたふるさとの味。舌が覚えている、所沢の味。それは、どのようにして生まれ、伝えられてきたのか。味覚の中のふるさとについて学び、新たな魅力を探ります。

	開催日時	タイトル	講師
第1回	11月1日(水) 午後2時～4時	狭山茶 －狭山茶の味と香りを極める－	工藤 宏氏 (地方史、お茶研究家)
第2回	11月8日(水) 午後2時～4時	さつまいも －「九里(栗)より(四里)うまい十三里」と いわれた さつまいもの味－	山田 英次氏 (サツマイモまんが資料館館長、川越いも友の会事務局長)
第3回	11月18日(土) 午後2時～4時	醤油 －創業160年の歴史を持つ、 所沢の醤油の味－	深井 隆正氏 (深井醤油株式会社代表)
第4回	11月25日(土) 午後2時～4時	うどん七変化 －日常の味、ハレの味－	宮本 八恵子氏 (所沢市文化財保護委員)

会場：生涯学習推進センター(学習室201) 定員：申込先着60人 ※4回とも出席できる方
申込：10月4日(水) 午前9時から電話で受付(午前9時から午後5時まで) ※ 土日・祝休
申込先：文化財保護課 04-2991-0308

三ヶ島菫子資料室文学講座

「菫子と子規 ～食べものどくらし～」

対談

三ヶ島菫子と正岡子規が食べたものをテーマにご対談いただき、二人が生きた時代を食べものという視点から読み解きます。

日時：令和5年10月15日(日) 午後2時～3時30分

会場：生涯学習推進センター(学習室201)

講師：さいとう なおこ氏(歌人) 関谷 英雄氏

定員：申込先着60人

申込：9月5日(火)から 電話で受付中(午前9時から午後5時まで) ※土日・祝休

申込先・問い合わせ：所沢市文化財保護課 電話 04-2991-0308



残りわずかです。
お申込みは、お早めに

第25回三ヶ島葎子資料室講演会

「物語る写真 — いま読み返す三ヶ島葎子」

日時：令和5年11月26日(日) 午後2時～3時30分
会場：所沢市三ヶ島まちづくりセンター ホール (三ヶ島公民館)
所沢市三ヶ島5-1639-1

講師：藤島 秀憲氏(歌人)

定員：申込先着100人

申込：11月2日(木) 午前9時から電話、電子申請で申込(午前9時から午後5時まで) ※土日・祝休

申込先・問い合わせ：所沢市文化財保護課 電話 04-2991-0308



みかしま
よしこ

ふるさと研究体験学習会

狭山丘陵 ちょっと地層を見て歩き

再び

日時：令和5年12月2日(土) 午前9時15分～午後12時30分
(雨天の場合は、12月9日(土)に延期) ※傾斜のある所を歩きます

集合：西武球場前駅 解散：下山口駅 (総行程約7km)

講師：久津間 文隆氏 (大東文化大学)

定員：20人 ※詳細は「翔びたつひろば11月号」をご覧ください。



好評につき、昨年と同じコースを歩きます。昨年参加できなかった方は、今年こそ参加してみませんか。

田山花袋も所沢に来た!?

〈ふるさと研究市民トピックvol.30〉

田山花袋(明治4.12.13-昭和5.5.13/小説家)は、羽生の地を訪れて書いた『田舎教師』などの作品が有名ですが、また、旅行好きでも知られており、紀行文も多く書いています。大正7年に、東京を中心として、日帰りまたは一泊二日の旅行をする人のために書いた『東京近郊 一日の行楽』という作品があり、その中に所沢や狭山丘陵のことが描かれています。

「昔は此邊は純乎とした田舎で、所澤も一つの田舎町にすぎなかつたが、今では、飛行場が出来て、非常に活氣を呈してゐる。私達はそこから汽車のレールに添つて、小手指原の方へと行つた。」(「元弘戦死者碑」より)

「狭山の丘陵は、武蔵野を研究するものの必ず行つて見なければならぬ處である。それは丁度、所澤の南西に横つてゐる丘陵で、遠くから望んで見ても、中にはさぞ種々なものが藏されてあるであろうと思はれるやうな感じがされる。それに武蔵野を詠んだ古歌にも狭山を詠み入れた歌は澤山にある。

それに、この狭山の丘陵の中からは、武蔵野唯一の川である内川が静かに流れ出して來てゐる。有名な狭山茶の産地でもある。それに、江戸名所圖繪を繙いて見ると、山口観音だの、北野の天神だのといふ宮がその丘陵の中にあつて、丘から丘へ越えて行く風景を描いた挿畫は、人の心を惹かずには置かない。それに、近時は、この地方に一大貯水池が設けられるやうに計畫されてゐる。

武蔵野鐵道に乗つて、所澤から先に行くと、この丘陵が左に當つてよく展開されて見えてゐる。松などが行儀よく並んで立つてゐたりする。西所澤の停車場から、丘陵の中の北野天神社まで一里十二三町である。

しかし、狭山丘陵の中に遊ぶには、川越線の東村山驛で下りて、真直に丘陵の中の路に入つて行く方が興味が饒い。荒幡新富士の眺望、これは武蔵野を展開するに最も好いところとされてゐるが、この地點が即ち狭山丘陵の略東端を成してゐるのである。(中略)

こゝから西、十二町ほどを隔て、勝樂寺村に勝樂寺がある。高い丘陵に凭つて七社の権現の祠がある。この寺は往古は大伽藍で、鎌倉將軍累世の祈願であつたといふ。そしてその時分は坊なども多く十二以上もあつたといふことだ。しかし今ではそれが田園の字となつて残つてゐるばかりである。(中略)

兎に角、狭山丘陵の中は、郊外散策者の是非一度は探討して見なければならぬところである。ことに、春、蕨の出る時分ふらふら其處を歩いて見ると、段々開けて行く武蔵野の中にも、まだかういふ處が残つてゐるかと思はれるところが到る處にある。市川とか中山とかさういふ方面を歩くも好いが、此方の方へ遊びに來て見るのも、決して面白くないことはない。狭山茶の状態などを研究して見るのも面白い。」(「狭山丘陵の中道」より)

紅葉の季節、大正時代の風景に思いを馳せながら、狭山丘陵を歩いて見るのも一興かもしれません。

〈参考資料〉『東京近郊 一日の行楽』田山花袋/著 博文館 1923年 (初版は1918年)

※「国立国会図書館デジタルコレクション」より

所沢市教育委員会 文化財保護課 ふるさと研究グループ

所沢市並木6丁目4-1 Tel:04-2991-0308 Fax:04-2991-0309 Mail:b29910308@city.tokorozawa.lg.jp